

改善計画書

施設名 あさけホーム (担当者 清水 孝幸)

(作成年月日 令和 5年 9月 3日作成)

		改 善 事 項 等							施設コメント
(施設として続けるに優れている点)	1	職員一人ひとりの育成に向け、目標管理シートを活用し事業所の運営目標に対する自分の目標の設定と管理の仕組みが構築されている。年度当初、中間期及び年度末の面談は、職員とコミュニケーションを図り、進捗状況や目標達成度の確認、相談の場としていく。							
	2	利用者の尊厳を守り基本的な人権への配慮ができていくかは、定期的な虐待防止チェックリストにより振り返りを行い、法人全体の虐待防止委員会で集計・把握し、改善に向けた取組に繋げる。							
	3	利用者が相談しやすい配慮として、キーパーソンとなる担当職員を配置し、迅速な対応に努める。チーム支援実施に向け、キーパーソンとなる担当職員との関係性が高められるよう他の職員のフォローできる体制を整え、協議しながら対応していく。							
	4	個別支援計画は、半年ごとに評価・見直しを行っている。支援員だけでなく、世話人が世話人ミーティングを通じて個別支援計画の策定及び評価・見直しに参画することで、計画に基づいた生活場面での支援の実施に繋げる。							
	5	利用者のお小遣い等の預り金規程に基づき定期的に確認し、不備がないように適切な管理に努めている。利用者の希望で高額な物品を購入する際には決裁を取るなど、透明性の確保に向けた取り組みを継続する。							
	6	利用希望者がスムーズに見学や入居後の生活を考えられるよう、まずは家族の意向、本人への説明や見学方法等を検討、その後見学等の流れで実施しており、利用者への配慮が感じられ丁寧な対応を行う。							
	7	職員の知識や専門技術、取得資格に応じた教育・研修の実施に努め、外部講師を活用したOJT、ケース会議でのコンサルテーションを定期的実施していく。							
	8	法人内の診療所は、地域の児童精神科医療にも貢献し、あさけ学園が福祉避難所に指定され、災害時の食料等の備蓄を行うなど、法人全体で地域の福祉の向上に積極的に取り組む。							
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当	
すべし	1	事業計画について、利用者への周知は障害特性もあり難しいところであるが、知ってもらうための工夫がされてない。	利用者に事業計画ができる限りわかるようにする。	3か月	2023.9	2023.11	どうしたら読めるか、わかってもらえるのかを意識して考える。わかりやすい言葉、短い言葉、絵や図や具体例をあげるなど。	あさけ学園施設長・管理者・事務長	
	2	職務分掌表に役割や責任、災害時や非常時等の有事の際の権限委任や役割を明確にし、職員に周知されていない。	職務分掌表に役割を明記、有事の際の指示系統を明文化し周知する。	3か月	2023.9	2023.11	職務分掌表に基づき役割を明記、有事の際の指示系統について明確化。一目でわかるものを作成し、周知していく。	あさけ学園施設長・管理者・事務長	
	3	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容に基づく改善・対応の状況等の公表を検討する。	ホームページに第三者評価受審結果や苦情のないことを公表していく。	3か月	2023.9	2023.11	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容に基づく改善・対応の状況等の公表を検討し、どのように表示していくかも検討する。	あさけ学園施設長・管理者・事務長	
	4	人材確保が厳しい現状であり、必要な福祉人材の効果的な人材確保の取り組みの検討がされていない。	人材確保に向け更なる取り組みを行う。	3か月	2023.9	2023.11	「ホームページ」の活用。例えば、あさけならではの良さをアピール。利用者が生活、職員の業務などがイメージできよう工夫を検討する。	あさけ学園施設長・管理者・事務長・主任・支援員・世話人	
	5								
	6								
工夫すればできること	1	利用者の加齢による体力や機能の低下を考慮し、予測を交えたヒヤリハットが導入されていない。	ヒヤリハット集を作成し周知していき事故や危険防止につなげる。	6か月	2023.9	2024.2	これまでの事故報告やネットを活用し目的に合ったヒヤリハットを見つけ、それをまとめヒヤリハット集を作成し、会議で周知しスタッフルームに配備する。	管理者、主任	
	2	具体的な中・長期計画が策定されていない。	中・長期計画を策定する。	1年7か月	2023.9	2025.3	理念や基本方針の実現に向けた目標の明確化とそれを実現するための組織体制や設備の整備、職員体制、人材確保・育成に関する具体的な中・長期計画を閑雅下、検討する。	あさけ学園施設長・管理者・事務長	
	3	継続的に自己評価を行うPDCAサイクルに基づいた取り組みがされていない。	改善計画を策定する。PDCAサイクルを意識した取り組みを進める。	1年	2023.9	2024.8	第三者評価結果で明確になった課題について、改善計画を立てて実施していくとともに、組織されている見直しのシステムが反省のみで終わらないように機能させる。	管理者・主任	
	4	あさけホーム単独では、収支の黒字化は厳しい現状であり、経営の改善が課題である。	黒字化に向けた改善策を作成する。	1年	2023.9	2024.8	収支の現状を把握し、内容について分析し、具体的な課題点を明確化する。	あさけ学園施設長・管理者・事務長	
	5	有給取得率の向上や働きやすさの改善が必要。	現状より余裕がある勤務状況を作る。	1年	2023.9	2024.8	現状の業務や会議、研修を見直し評価を行い、取捨選択する。	管理者・全主任(運営会議)	
	6	ボランティアや職場体験の受け入れ手順、事前説明に関する基本方針の明文化や受け入れ時の研修が実施されていない。	ボランティアや職場体験の受け入れにおける基本方針の作成を行う。	6か月	2023.9	2024.2	これまで受け入れてきたボランティアを振り返り、受け入れについての理由、手順を整理していき検討する。	全主任	
	7	世話人の手書きの記録のパソコン入力の手間を省き業務の効率化をはかる。	世話人が直接記録を入力できるようになる。	1年	2023.9	2024.8	音声入力の設備(ソフトも含む)を調べ、操作手順についても調べる。運用方法・管理についても検討する。	管理者・主任・事務長	
	8								
予算化しにくいこと	1								
	2								
	3								
	4								
	5								